

れいわ ねん ど だい かい た ん ば し た ぶ ん か き ょう せ い す い し ん こ ん わ か い て き ろ く  
令和6年度 第4回丹波市多文化共生推進懇話会（摘録）

にち じ れいわ ねん がつ にち すい ご ご じ ぶんかいかい ご ご じ へいかい  
日 時：令和6年12月26日（水）午後1時30分開会～午後3時閉会

ば し ょ ひ か み じ ゅ う み ん じ っ し ゅ う し つ  
場 所：氷上住民センター 実習室

し ゅ っ せ き し ゃ い い ん し ぶ や せ つ こ かい ち ょ う と く ら な お こ ふ く かい ち ょ う あ し だ つ ね お い い ん ふ る か わ ま さ た かい い ん い し だ い い ん  
出席者委員：渋谷節子会長、十倉直子副会長、芦田恒男委員、古川正孝委員、石田スエリ委員、

ぶ い て い と う ふ う え ん い い ん い け だ か ず よ い い ん さ か た に ひ で の り い い ん  
BUI THI THU HUYEN委員、池田和代委員、坂谷秀則委員

け っ せ き し ゃ い い ん あ だ ち よ し の ぶ い い ん い わ さ わ ひ ろ か ず い い ん な が が わ い い ん  
欠席者委員：足立喜信委員、岩澤宏一委員、中川フェテレウォルク委員

じ む き ゃ く た に み ず ぶ ち ょ う ど う も と じ ん け ん け い は つ し ょ ち ょ う み や の じ ん け ん け い は つ ふ く し ょ ち ょ う け ん  
事務局：谷水まちづくり部長、堂本人権啓発センター所長、宮野人権啓発センター副所長兼

だ ん じ ょ き ゃ う ど う さん か く す い し ん か か り ち ょ う う め づ じ ん け ん す い し ん か か り ち ょ う か み さ わ し ゅ じ  
男女共同参画推進係長、梅津人権推進係長、神澤主事

ぎ じ た ん ば し た ぶ ん か き ょう せ い す い し ん き ほ ん ほう し ん あ ん た い け っ か  
議 事：丹波市多文化共生推進基本方針（案）に対するパブリックコメントの結果について

そ の た た ん ば し た ぶ ん か き ょう せ い す い し ん き ほ ん ほう し ん あ ん た い け っ か  
その他：「やさしい日本語」の普及について

し り ゃ う  
資 料：

- ・ だ ん ば し た ぶ ん か き ょう せ い す い し ん き ほ ん ほう し ん あ ん た い け っ か し り ゃ う  
・ 丹波市多文化共生推進基本方針（案）に対するパブリックコメントの結果について【資料1】
- ・ た ん ば し た ぶ ん か き ょう せ い す い し ん き ほ ん ほう し ん あ ん し り ゃ う  
・ 丹波市多文化共生推進基本方針（案）【資料2】
- ・ た ん ば し た ぶ ん か き ょう せ い す い し ん き ほ ん ほう し ん あ ん に ほ ん ご ば ん し り ゃ う  
・ 丹波市多文化共生推進基本方針（案）【やさしい日本語版】【資料2－1】

1 かいかい  
開会

2 あいさつ  
あいさつ

かいちょう  
会長

ほんじつ みな いそが あつ かんしゃもうし あ かいぎ だい かいめ  
本日も皆さんお忙しいところお集まりいただき感謝申し上げます。この会議も第4回目とい

うことで、これまで皆さんからたくさんのご意見をいただいて基本方針もまとまってきた。そ

して、今回はパブリックコメントの結果報告についてご意見をいただく予定であるが、今回が

さいご かくにんさぎょう 最後の確認作業となるので、みな ねが もう あ 皆さんよろしくお願い申し上げます。

### 3 かいぎ こうかい ひこうかい 会議の公開・非公開について

しんぎ 審議にあたっては、とくだん こじん じょうほう とくてい 特段個人情報 が特定されることはないため、こうかい 公開とする。なお、ぎろん 議論を

すす 進めていく なか こじん とくてい 中で個人が特定されるような内容 ないよう となった場合 ばあい には、ひこうかい 非公開とする ね 旨を確認する。

### 4 きょうぎじこう 協議事項

(1) たん ばし た ぶん かきょうせい いしん きほん ほうしん あん たい 丹波市多文化共生推進基本方針（案） に対するパブリックコメントの結果 けっか について

じむきょく 事務局より しりょう 【資料1】、しりょう 【資料2】、しりょう 【資料2－1】 にもと せつめい に基づき説明

#### いけんようし 【意見要旨】

##### いいん 委員

がいこくじん し みん かた ぎの う じっしゅうせい けんしゅうせい 外国人市民の方は、技能実習生や研修生として、またインターンなどでいらっしゃるかとおも

うが、なんねん た かえ 何年か経てば帰ってしまうのか。あるいは、にほん のこ 日本へ残りたいという人 ひと がいればなにかのこ 残る

みち つく 道を作 つか ってあげるようなことはあるのか。

##### ふくかいちょう 副会長

ぎの う じっしゅうせい ざいりゅうしかく みなお さいしゅうてき 技能実習生の在留資格 については見直 しておも いっぽう とくてい されており、最終的にはなくな と思う。一方で特定

ぎの う ざいりゅうしかく も かた ふ 技能の在留資格を持つ方が 増えており、ぎの う じっしゅう ひかく かぞく たいどうとうさまさま じょうけん かん 技能実習と比較して、家族の帯同等 様々な条件が緩

わ 和されていると認識 している。とくていぎの う しゃいん さいよう 特定技能は社員として採用され、ぎの う じっしゅうせい いじょう ご たいざい 技能実習生以上にその後も滞在

かの う せい たか できる可能性が高い。

じむきよく  
事務局

はじめにやさしい日本語版の方針案について説明させていただいたが、見ていただいてわかる通り、すべてにルビを振っている。言葉一つひとつ日本語能力検定のどのレベルにあたるのかを調べて、全部ではないが可能な限りでやさしい日本語に置き換え、分かち書きも含めてわかりやすいように表記している。

ふくかいちょう  
副会長

やさしい日本語版の方針案について、私の知る限りでは他の自治体で基本方針の全文をやさしい日本語にして作っているところを知らないので画期的な取組であると感じている。

じむきよく  
事務局

単純に日本語にルビを振ったものはたくさんあると思うが、先ほど申し上げた通り、一つひとつの言葉を確認したことや、グラフなども見ていただくと、問いに対して回答が何件あってそれが何パーセントであるのか、そういったところもやさしい日本語で書き加える工夫をしている。やさしい日本語版も基本方針の冊子の一つとして考えているためご意見があればお伺いしたい。

いいん  
委員

やさしい日本語版は見やすく読みやすいものになっていると思う。外国人の立場の私から見て通常版は難しいと感じる言葉がたくさんあったが、やさしい日本語版では全部わかるようになっている。

いいん  
委員

基本方針を二つ作成する意味がわからない。わかりやすいものであればやさしい日本語版を  
基本方針とすればよいと思うが、なぜ二つ必要なのか理由を伺いたい。

じむきよく  
事務局

基本方針は、やさしい日本語版のみでもよいのではないかという意見であったが、行政が  
通常作成する方針は資料2のようなものしか作成されていない。そういった中で、やはり外国人  
市民の方にもこのような内容で取組を進めていきますということを知っていただきたく作成し  
たが、委員のご意見のとおり、そもそもやさしい日本語版のみでよいのではないかという考  
え方は、本来の多文化共生のあり方であり、方針だけではなく様々な場面でやさしい日本語での  
表現ができるようになれば、二つ三つと作る必要はなくなる。今回については、このように取組  
を進めていくという意味も込めて通常版とやさしい日本語版の二冊の作成としている。通常版  
とやさしい日本語版を見比べて「このようなことができるんだ」、「このようにやさしい日本語に  
言い換えることができるのか」と、市役所庁内にも、それ以外の方にも参考にしていただくこ  
とができるので、このように形として残すことができたことは大きいと考える。

いいん  
委員

今説明を聞いて非常にしっくりきた。今回二つ作成されたことで、この言葉はこのように言い  
換えることができるのかと比較することでわかることもあった。この取組がほかの自治体にも  
広がると私もやさしい日本語版の一冊だけでよいと思うが、あえて二つ作成したことで先ほど  
申した通り、比較してどのようにしたらよいのかがわかりやすくなったのは非常に意味がある

ことだと思<sup>おも</sup>う。

いいん  
委員

成果<sup>せいこ</sup>として数値<sup>すうちう</sup>等は表<sup>あらわ</sup>しづらいところがあるかと思<sup>おも</sup>うが、外国人<sup>がいこくじん</sup>市民<sup>しみん</sup>の方<sup>かた</sup>へアンケートを

定期的<sup>ていきてき</sup>に取り<sup>と</sup>、わかりやすくな<sup>な</sup>ったか、よくな<sup>な</sup>ったかというのは報告<sup>ほうこく</sup>していただけるのか。

じむきよく  
事務局

アンケートを毎年<sup>まいとし</sup>または何年<sup>なんねん</sup>後<sup>ご</sup>に取るかという具体的<sup>ぐたいてき</sup>なことは決<sup>き</sup>まってい<sup>い</sup>ないが、この基本<sup>きほん</sup>

方針<sup>ほうしん</sup>に基<sup>もと</sup>づいて取組<sup>とりくみ</sup>を進<sup>すす</sup>める中<sup>なか</sup>では、市民<sup>しみん</sup>の方<sup>かた</sup>の意識<sup>いしき</sup>も含<sup>ふく</sup>めてどこかのタイミ<sup>し</sup>ングで調<sup>しら</sup>べたい

とは考<sup>かんが</sup>えているので今後<sup>こんご</sup>検<sup>けん</sup>討<sup>とう</sup>する。

いいん  
委員

作り<sup>つく</sup>っぱなしで忘れ<sup>わす</sup>られることが一番<sup>いちばん</sup>よくない。どこかに明<sup>めい</sup>記<sup>き</sup>できないか。

じむきよく  
事務局

施策<sup>しやく</sup>の内容<sup>ないよう</sup>、そして具体的<sup>ぐたいてき</sup>な行<sup>こう</sup>動<sup>どう</sup>や取組<sup>とりくみ</sup>の進<sup>しん</sup>捗<sup>ちやく</sup>については、第5章<sup>だいしやう</sup>に記<sup>き</sup>載<sup>さい</sup>の通<sup>とお</sup>り、ま<sup>ま</sup>ずは

庁内<sup>ちやうない</sup>関<sup>かん</sup>係<sup>けい</sup>課<sup>か</sup>との連<sup>れん</sup>絡<sup>らく</sup>調<sup>てう</sup>整<sup>せい</sup>を行<sup>おこな</sup>うとしてい<sup>い</sup>るが、委員<sup>いいん</sup>のご意<sup>い</sup>見<sup>けん</sup>にあ<sup>あ</sup>ったよう<sup>よう</sup>に、それによ<sup>よ</sup>って

どう変<sup>か</sup>わったのか等<sup>な</sup>どはどこかのタイミ<sup>か</sup>ングで確<sup>かく</sup>認<sup>にん</sup>するこ<sup>こ</sup>は検<sup>けん</sup>討<sup>とう</sup>する。

いいん  
委員

この基本<sup>きほん</sup>方<sup>ほう</sup>針<sup>しん</sup>の冊<sup>さつ</sup>子<sup>し</sup>は外国<sup>がいこく</sup>人<sup>じん</sup>市<sup>し</sup>民<sup>みん</sup>の方<sup>かた</sup>に配<sup>はい</sup>布<sup>ふ</sup>されるのか。

じむきよく  
事務局

こんご よてい こんわかいしゅうりょうご ちょうない さいしゅうかくにん ほうしん けつてい おも し  
今後の予定としては、懇話会終了後、庁内での最終確認をもって方針が決定し、主には市  
のホームページで、データで提供することを考えており、外国人市民の方に個別に配布するこ  
とはいまげんざいかんが さっし べつ すこ かんたん がいこくじんし かんが  
とは今現在考えていない。この冊子とは別に、もう少し簡単にした概要版を今後作りたいと考  
えており、そちらはさまざま さいかい はいふ とりくみ し しゅうち かんが  
えており、そちらは様々な機会に配布し取組について知っていただけるように周知したいと考  
えている。

いいん  
委員

じぎょうしょ じち かい た だんたい  
事業所や自治会、その他団体へということになるか。

じむきよく  
事務局

もちろんちいき かに ひろ し きかい み さっし はいふ ていきょう  
もちろん地域の方には広く知っていただきたいので、機会を見て冊子の配布やデータの提供  
をおこな よてい おこな さき た ぶん かきょうせい いしき うす いけん  
を行う予定である。また、先ほど多文化共生の意識が薄れていかないようにというご意見をい  
ただいたが、つうじょうばん きほんほうしん し じん かんけいき かん だんたいとう れんけい きょうどう  
ただいたが、通常版の基本方針23 ページに、市民、関係機関、団体等との連携と協働について  
きさい とお し さまざま かに いっしょ とりくみ すす じゅうようせい しめ  
記載している通り、市だけではなく様々な方たちと一緒に取組を進めることの重要性を示して  
いる。この取組の一つとして、21 ページにネットワークづくりを挙げている。ネットワークを  
つく がいこくじんし かんが じん しん かんが だんたい  
作るといことは、外国人市民の方や様々な団体みんながつながることができるようになる。そ  
して、つながるにあたって、たんばし きほんほうしん た とりくみ すす せつめい おの  
して、つながるにあたって、丹波市は基本方針を立てて取組を進めているという説明は自ずと  
ひつよう おも じみち ひと ていねい しゅうち おも  
必要になるかと思うので、地道に一つひとつ丁寧に周知していきたいと思う。

かいちょう  
会長

ぜんたい とお い けん しつもん さいしゅうてき ほうしん  
ほかに全体を通してご意見やご質問がないようであればこれで最終的な方針としてまとめたい  
とおもう。

## 6 その他<sup>た</sup>

(1) 事務局<sup>じむきょく</sup>よりやさしい日本語<sup>にほんご</sup>の普及<sup>ふきゅう</sup>について説明<sup>せつめい</sup>

(2) 閉会<sup>へいかい</sup>にあたって各委員<sup>かくいいん</sup>及び事務局<sup>じむきょく</sup>からあいさつ

いいん  
委員

先<sup>さき</sup>ほどのやさしい日本語<sup>にほんご</sup>に関する説明<sup>せつめい</sup>を聞いて、私<sup>わたし</sup>は仕事<sup>しごと</sup>の中で外国人<sup>がいこくじん</sup>と接<sup>せつ</sup>することもあるが、日本人<sup>にほんじん</sup>に対しても物事<sup>ものごと</sup>の伝え方<sup>つたかた</sup>によっては、うまく伝わっていないという経験<sup>けいけん</sup>をしたことがあり、身<sup>み</sup>に着<sup>つ</sup>ける必要<sup>ひつよう</sup>のある知識<sup>ちしき</sup>だと感じた。やさしい日本語<sup>にほんご</sup>に関することやこの基本方針<sup>きほんほうしん</sup>の内容<sup>ないよう</sup>について勉強<sup>べんきょう</sup>する機会<sup>きかい</sup>を設<sup>もう</sup>けていきたいと思う。この会議<sup>かいぎ</sup>は、良い<sup>よ</sup>新たな気づき<sup>あら きづき</sup>を得<sup>え</sup>る機会<sup>きかい</sup>となった。

いいん  
委員

この基本方針<sup>きほんほうしん</sup>が出来上<sup>できあ</sup>がり、進<sup>すす</sup>めていくうえで、自治会<sup>じちかい</sup>は大きな役割<sup>おお やくわり</sup>を持っていると実感<sup>も</sup>している。また、基本方針<sup>きほんほうしん</sup>に沿<sup>そ</sup>って進<sup>すす</sup>めていくためにプロジェクトチームのようなものをつくって進<sup>すす</sup>めていくことが大事<sup>だいじ</sup>であると思<sup>おも</sup>っているので、よろしくお願<sup>ねが</sup>い申し上<sup>もう あ</sup>げる。

いいん  
委員

やさしい日本語<sup>にほんご</sup>がすごく良い取組<sup>よ とりぐみ</sup>だと感じた。30年前<sup>ねんまえ</sup>からやさしい日本語<sup>にほんご</sup>が広<sup>ひろ</sup>く使<sup>つか</sup>われていたら私<sup>わたし</sup>も色々<sup>いろいろ</sup>な人も助<sup>たす</sup>かっていたと思<sup>おも</sup>う。

いいん  
委員

基本方針<sup>きほんほうしん</sup>の策定<sup>さくてい</sup>について、ここまでの会議<sup>かいぎ</sup>大変<sup>たいへん</sup>ご苦勞<sup>くろう</sup>であった。私<sup>わたし</sup>たちも色々<sup>いろいろ</sup>と意見<sup>いけん</sup>を伝<sup>つた</sup>え

させていただくことができた。やさしい日本語は、言葉も易しく、気持ちも優しくと理解している。国と国ではぎすぎすしているところもあるが、市民レベルで考えると、人間対人間なので、やさしく接していくことが大切である。丹波市に来ていただいた外国人が同じ地域に住む生活者として安心して暮らすことができるように、外国人と地域などとの窓口となる人が重要であり、私もそうなりたいと思う。

#### いいん 委員

私は20年以上外国人に日本語を教えるなどのサポートをしてきたが、今回やさしい日本語についての説明を聞き、気づいていなかったことやこれまでの外国人との会話で、勘違いしていたことがあったかなと思いなおすことができた。やさしい日本語は奥が深いし、やさしい日本語版の基本方針案を作成するのも苦労されたと思う。基本方針をもとに私も頑張って進めていきたいと思う。

#### いいん 委員

外国人として、この会議に参加させてもらえて感謝している。日本に来る前にインターネットで調べていると、日本人から外国人への偏見などがたくさんでできた。でも、丹波市の皆さんは外国人に優しく、安心安全に暮らすことができている。やさしい日本語はとても良いと思う。会社の中や交流会で通訳を頼まれることがある。「この人は日本語がわからないから」といわれるが、言い方を変えれば、すぐに伝わる時がある。本人も直接伝えてもらうほうが、嬉しいと思うので、やさしい日本語をみんなが使えたら良い。やさしい日本語は外国人だけではなく、高齢者の方とか障がいがある方にも伝わりやすくて、会社の中でもこういう講義があれば



いい<sup>おも</sup>と思った。

じむきよく  
事務局

いい<sup>いん</sup>みな<sup>みな</sup>さまにはご多用<sup>たようなか</sup>の中、1年間<sup>ねんかん</sup>、本懇話会<sup>ほんこんわかい</sup>にご出席<sup>しゅつせき</sup>いただき、感謝<sup>かんしゃもう</sup>申し上げます。

また、懇話会<sup>こんわかい</sup>の開催<sup>かいさい</sup>にあたり、事前<sup>じぜん</sup>に資料<sup>しりょう</sup>を送らせていただいていたが、しっかりと内容<sup>ないよう</sup>を確認<sup>かくにん</sup>

いただき、会議<sup>かいぎ</sup>では、それぞれの立場<sup>たちば</sup>から、活発<sup>かつぱつ</sup>なご意見<sup>いけん</sup>いただき、本日<sup>ほんじつ</sup>、『丹波市多文化共<sup>たんばしたぶんかきょうせい</sup>生推進<sup>せいしん</sup>

基本方針<sup>きほんほうしん</sup>』の案<sup>あん</sup>を完成<sup>かんせい</sup>させることができたこと、厚くお礼<sup>あつれい</sup>申し上げます。

今後は、完成<sup>かんせい</sup>した方針案<sup>ほうしんあん</sup>について、市長<sup>しちょう</sup>へ報告<sup>ほうこく</sup>させていただき、本年度中<sup>ほんねんどちゅう</sup>の策定<sup>さくてい</sup>となる。

そして、次年度<sup>じねんど</sup>より本方針<sup>ほんほうしん</sup>で示している、基本理念<sup>きほんりねん</sup>「外国人市民<sup>がいこくじんしみん</sup>が安心<sup>あんしん</sup>して日常生活<sup>にちじょうせいかつ</sup>を営<sup>い</sup>み、

地域<sup>ちいき</sup>の一員<sup>いちいん</sup>として支えあう、誰も<sup>だれ</sup>が暮らしやすいまち、丹波市<sup>たんばし</sup>」をめざして、各関係課<sup>かくかんけいか</sup>、また関係<sup>かんけい</sup>

機関<sup>きかん</sup>・団体<sup>だんたい</sup>と連携<sup>れんけい</sup>し、取り組<sup>とく</sup>んでまいる。委員<sup>いいん</sup>の皆さまもそれぞれのお立場<sup>たちば</sup>で、共に生きる共<sup>とも</sup>生<sup>い</sup>共<sup>きょう</sup>生<sup>せい</sup>

社会<sup>しゃかい</sup>の実現<sup>じつげん</sup>に向け、リーダーシップ<sup>む</sup>を発揮<sup>はつき</sup>し、導<sup>みちび</sup>いていただければと思<sup>おも</sup>う。

会<sup>かい</sup>長<sup>ちよう</sup>をはじめとする委員<sup>いいん</sup>の皆さまに改<sup>あらた</sup>めて、感謝<sup>かんしゃ</sup>を申し上げ、お礼<sup>もう</sup>のあいさつにかえさせてい<sup>れい</sup>ただく。

ふくかいちよう  
副会長

これまで1年間<sup>ねんかん</sup>、4回<sup>かい</sup>にわたり、それぞれ違<sup>ちが</sup>うバックグラウンドをお持ち<sup>もち</sup>の方が集<sup>かた</sup>まり協<sup>あつ</sup>議<sup>きようぎ</sup>し

ていただいた。この会<sup>かい</sup>議<sup>ぎ</sup>が立<sup>た</sup>ち上<sup>あ</sup>がる前<sup>まえ</sup>から、皆<sup>みな</sup>さまそれぞれの立<sup>たち</sup>場<sup>ば</sup>で多<sup>た</sup>文<sup>ぶん</sup>化<sup>か</sup>共<sup>きょう</sup>生<sup>せい</sup>社会<sup>しゃかい</sup>の実現<sup>じつげん</sup>を

進<sup>すす</sup>めてこられたと思<sup>おも</sup>うが、基本方針<sup>きほんほうしん</sup>が完成<sup>かんせい</sup>することにより、歩<sup>ある</sup>いてきた道<sup>みち</sup>にひとつの道<sup>みち</sup>しるべが

できるのではないかとと思<sup>おも</sup>う。また、これから道<sup>みち</sup>が見えなくなることもあるかとと思<sup>おも</sup>うが、この基本<sup>きほん</sup>

方針<sup>ほうしん</sup>が街灯<sup>がいとう</sup>の役目<sup>やくめ</sup>をすともと思<sup>おも</sup>う。まだまだこれが始<sup>はじ</sup>まりだと感じており、先<sup>かん</sup>ほどのやさしい<sup>さき</sup>

にほんご せつめい  
日本語の説明にもあった「寛容な社会」をめざすために、一人ひとりが寛容な社会をつくるため

にはどうすればよいのかをかんがえ、ちからをあわせてすすめていきたいとかんがえる。

これまできょうぎいただいたみなさんにかんしゃをもうあへいかい、閉会とする。